



体育施設用器具（バスケット台（移動式）、フットサルゴール（移動式））のSG基準・検査マニュアル・事務受付について

2017年 1月 6日
一般財団法人製品安全協会

このたび、下記内容により2017年1月10日付で下記の体育施設用器具（2品目）のSG基準及び検査マニュアルを制定又は改正し、事務受付を開始致します。

記

1. 基準制定・改正の経緯

バスケット台（移動式）は、1990年に基準制定後、改正が行われていない。今回、製品起因の事故への対応、用具の進歩等への対応に加え、一部構造規制を撤廃することにより新規製品開発の支障にならないよう改めることとした。

また、フットサルは、1994年頃から手軽に行えるスポーツとして広がり始め、2008年には学校の体育授業にも取り入れることができるようになっており普及の広がりを見せている。それ故にフットサルゴールにおいてもサッカーゴールやハンドボールゴールと同様に転倒事故（クロスバーにぶら下がりやよじ登りでの転倒や、突風による転倒）等が発生していたが、製品安全に関する基準等は制定されていなかったため、この度フットサルゴール（移動式）として基準化を行った。

改正：GPSA0097 バスケット台（移動式）（移動式バスケット装置から名称変更）
制定：GPSA0141 フットサルゴール（移動式）

2. SG基準の主要制定・改正内容

(1) バスケット台（移動式）の主な改正内容は、次のとおり。

イ. 単位表示

単位表示はJIS Z 8203「国際単位系（SI）及びその使い方」に合わせた。

ロ. 種類・安全性品質

見直した。

ハ. 表示及び取扱説明書

管理者の明確化、注意事項の表示等を追加した。

ニ. その他

分かりづらい文言を修正し、解説も現時点で見直した。

(2) フットサルゴール（移動式）の主な内容は、次のとおり。

イ. 適用範囲

屋内外を問わず、移動式のゴールとした。

ロ. 安全性品質

既に SG 基準となっているサッカーゴール（移動式）やハンドボールゴール（屋外用）をベースに転倒防止を目的とした安定性の項目を追加した。

※基準内容を補完する検査マニュアルも合わせて制定・改正を行った。

3. 事務受付

(1) バスケット台（移動式）

SG マークを表示するための手続きの主な変更点

① 新規登録

・ 2017年1月10日以降申請分から新基準にて受け付けます。

② 既存登録事業者

・ 2017年1月10日から2017年7月末日までの間に改正後の SG 基準に基づく社内管理に変更してください。新しい設備が必要な場合はその導入、社内規程（設計管理、設備管理、検査管理など）の見直しなど。

・ 当協会では、2017年1月10日から2017年7月末日までの間に必要に応じて臨時事後調査を予定します。正式に事後調査が決定した後、製造事業者にご都合を伺います。

③ 型式確認（更新を含む）

・ 2017年1月10日以降行う型式試験は「改正後の SG 基準」にて行います。

・ ただし、特に希望される申請者の方は2017年7月末日までの間に限って「改正前の SG 基準」にて型式試験の実施も可能です。この場合は、必ずお申し出願います。

④ 表示交付

※ 変更点はございません。

⑤ ロット認証

・ 上記③型式確認と同様の扱いです。なお、特殊試験の有効期間は最長6か月ですので、例えば改正前の SG 基準で2017年7月31日に適合となった場合は最長2018年1月31日まで有効とします。

(2) フットサルゴール（移動式）

2017年1月10日以降申請分から新規制定基準にて受け付けます。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

一般財団法人製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪

電話：03-5808-3302 業務グループ 畠（はたけ）、菅

FAX：03-5808-3305 E-Mail m-hatake@sg-mark.org